

発行日：2017年7月3日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(一般財団法人日本花普及センター)

連絡先：03-3664-8739



ジャパンフラワーセレクション2017-2018 鉢物部門 母の日審査会 審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」の鉢物部門は、このたび、母の日審査会を大田市場花き部内(株)フラワーオークションジャパンで実施し、鉢物部門15品種を業界の推奨品種として選定しました。

これらの中から、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定しました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

【実施概要】

■審査会日時および開催場所：

鉢物部門 2017年5月8日(月) 15:30~17:00

((株)フラワーオークションジャパン 新館2階B会議室)

■審査後の展示期間：

鉢物部門 2017年5月8日(土)~12日(金)

■出品品種：鉢物部門22品種

■入賞品種：鉢物部門15品種

【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識経験者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。



■鉢物部門

* 部門長

長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン
取締役 花の広報室長*

井垣 秀人 (株)大田花き 営業本部商品部門第三チーム
園芸担当チームリーダー

尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役
香取 邦枝 第一園芸(株) 新商品開発課課長

向原 潤 (株)ディノス・セシール フラワーネット本部
フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニットチーフ



<ジャパンフラワーセレクションとは>

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的な花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に導入される花きの新品種のなかから、消費者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

<JFS受賞マークについて>



このマークが、消費者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがあります。アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

<秋審査会 出品募集中！>

審査圃場：千葉大学環境健康フィールド科学センター(千葉県柏市)

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇(千葉大学)にて栽培記録つけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

ポット苗の
ご出品はこちらへ！

■出品料：1品種30,000円（税別）

*以下①②の条件に該当する方は、**1品種10,000円（税別）**です。

（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①(一財)日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A
(都道府県、各種団体、企業、協同組合)
もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員

*千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。
(苗の納入日は変更になる場合があります)

■JFS出品対象品種

- ① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種
- ② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの
(海外で育種されたものも含む)

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

- ① 品種の育成者権(同品種を業として扱う権利)を持つ者
- ② 契約により日本における販売代理を持つ者
(海外で育成された品種も出品可能)

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



▲千葉大の審査花壇の様子



▲審査の様子

■ ジャパンフラワーセレクションの授賞体系について

1. 入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、JFS受賞品種は業界として自信をもって推奨できる品種です。入賞品種は以下の2~4の各賞の対象となります。

2. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での入賞品種(10点満点の7.0以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

3. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で10点満点の平均点が8.0以上の品種に授与します。花や葉の美しさなど、品種特性の優位性や新規性に加えて、生活者の視点から「育てやすさ」「購入しやすさ」「飾りやすさ」なども評価し、総合的に優秀と認められる品種です。

4. フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

年末に開催される中央審査委員会で、年間を通じて開催された各審査会でベスト・フラワー(優秀賞)を授与した品種の中から、その年を代表する最も優れた品種に授与されます。各部門ごとに1品種ずつ選定されます。

■切花部門……1品種

■鉢物部門……1品種

■ガーデニング部門……1品種



日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2016授賞式(学士会館)

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ライフデザイン特別賞 同時受賞]



品目名 : アジサイ
 品種名 : ヤマアジサイ うるは
 受賞者 : 吉岡麗子（埼玉県）
 育成者 : 吉岡麗子
 審査講評 :

人気の手毬咲き品種。装飾花は咲き始めが白く、徐々に桜色のようなやさしいパウダーピンク色に変わる。小さな花房だが多数着くので、ボリューム感ある株でギフトにも喜ばれる。小鉢仕立てでも大きく仕立ててもどちらでも雰囲気ある贈り物になるだろう。
 ベスト・フラワー（優秀賞）とライフデザイン特別賞を同時に受賞した。



ニューバリュー特別賞

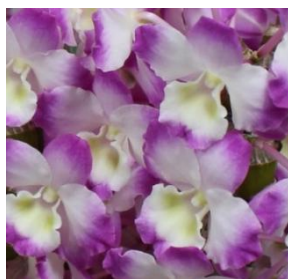


品目名 : ペチュニア
 品種名 : インカのペチュニア
 クリームバリエガータ
 受賞者 : 高山農園（埼玉県）
 育成者 : 高山 晃
 審査講評 :

白、クリームイエロー、グリーンの色のコントラストがさわやかで美しい。まとまった草姿が、小さな花束のように見える。小さめの葉に薄いクリーム色の斑が入った葉も美しく、花が少ない時期でもさみしくならないところも優秀。
 今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種としてニューバリュー特別賞を受賞。



入賞



品目名 : デンドロビウム
 品種名 : 母想いS
 受賞者 : 有限会社 宮川洋蘭（熊本県）
 育成者 : 田坂 幸夫
 育成者権者 : 有限会社 宮川洋蘭
 審査講評 :

コンパクトな草姿で花付きが良く豪華。以前の同シリーズのデンドロビウムより、一層濃い花色。弁質も厚く、長く楽しめる。
 気温が高くなるノビル系デンドロビウムは極端に日持ちが短くなり、母の日商戦に販売するには長い日持ちが必須である。この品種は弁質が厚く、日持ちに優れ、三倍体系にしてはコンパクトで花付きが良い点も母の日商戦向けであろう。

入賞



品目名：カーネーション
 品種名：感謝の気持ち
 受賞者：株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 育成者：高橋 励、布山路芳
 育成者権者：株式会社 サカタのタネ
 審査講評：母の日の定番、赤系のカーネーションだが、花首が短く、コンパクトな鉢物に適している。花の高さの揃いもとても良い。咲き終わった花の退色や傷みが比較的わかりにくく、花ガラを取るなどの簡単なメンテナンスで豪華に咲いている様子が長く楽しめる。



品目名：カーネーション
 品種名：フォーエバーラブ
 受賞者：株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 育成者：高橋 励、布山路芳
 育成者権者：株式会社 サカタのタネ
 審査講評：サクラの花びらのようなパールピンクのカーネーション。花首が短く、コンパクトな草姿と花の高さの揃いが良いところも評価された。多くの人に好まれる優しい色で、どんな場所にもマッチしやすく、ギフトに向いている。



品目名：カーネーション
 品種名：フローシリーズ ボンダイビーチ
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 育成者権者：Hilverdakooij
 審査講評：複色の華やかなカーネーション。この「フローシリーズ」は、異なる色の花でも同じように育てられ、シリーズ間の揃いが良いという生産者サイドの特徴がある。これはフローシリーズの新色。淡い黄色の地色に弁先が紅色に染まり、そのコントラストがたいへん明るくみえる。このシリーズは品種間差異が小さいと生産者の間で高い評価を受けているが、この品種も同様で、生産性が極めて高い。



品目名：アジサイ
 品種名：コットンキャンディ
 受賞者：株式会社 ハクサン(愛知県)
 育成者：Schroll flower
 育成者権者：(株) J&H ジャパン
 審査講評：少し緑がかかったクリームホワイトから優しいピンクに色が変化する。ネーミングもその姿にマッチしていて良く、母の日の需要に答えられる。見た目の魅力の他に、分枝の良さ、リングが無くても自立する茎の強さも評価できる。白色系だが花弁も強く、色の変化を楽しみながら非常に長く観賞できる。販売時に色の変化をうまく伝えられるとなお良い。

入賞



品目名 : アジサイ
品種名 : Dama Blanca
受賞者 : 久保田花園 (群馬県)
育成者 : 久保田 哲也
育成者権者 : 久保田 哲也
審査講評 : 咲き始めはライムグリーンで、咲き進むにしたがって白色になる半八重品種。枝ごとに開花が揃っていないなくても不自然でなく、色の変化を楽しめる。花弁が厚く少し内側に巻きぷっくりして、コンパクトな仕立てに合っている。葉は照り葉で厚く強健そう。



品目名 : アジサイ
品種名 : Melty Love
受賞者 : 久保田花園 (群馬県)
育成者 : 久保田 正夫
育成者権者 : 久保田 正夫
審査講評 : 赤色というよりマゼンタっぽい色の強い茜色の品種。刻みの入った花弁(ガク片)の中心部分は淡くぼかしが入ったようになっていて、ぷっくりと立体感も感じる。
シックともいえる色味は、かわいらしさより大人っぽさを感じさせる。青色、ピンク色の多い中で、少し違ったアジサイを求める人におすすめしやすい。



品目名 : ペラルゴニウム
品種名 : フェアリーチュチュ ピンク
受賞者 : 高松商事株式会社 (千葉県)
育成者 : Martin Geibel
育成者権者 : Elsner pac Jungpflanzen GbR
審査講評 : 濁りのないピンクに白いブロッチが目に見える鮮やかなペラルゴニウム。ゆるいフリルの入った花弁は、エレガントで華やかさにあふれており、母の日のギフトとしての提案もできる。
同シリーズに色バリエーション展開(ソフトピンク、チェリー、ダークレッド)もあり、販売しやすい。



品目名 : ペチュニア
品種名 : 妖精のチュチュ
セミダブルローズピコティ
受賞者 : 松原園芸 (群馬県)
育成者 : 松原園芸
育成者権者 : 松原園芸
審査講評 : セミダブル中小輪系で、淡緑～白色の星型のような花弁の縁にローズピンクが入る新しい色合い。セミダブルよりフルダブルを目指した方が花型・花色のイメージにより合うかもしれない。

入賞



品目名 : ファレノプシス
 品種名 : 彩姫
 受賞者 : 株式会社マルイ洋蘭開発センター (群馬県)
 育成者 : 柯文秀
 育成者権者 : 伊早坂 栄作
 審査講評 : コンパクトな葉に長い花茎、着花輪数も多く、全体的にバランスが良い。ピンクのグラデーションも美しく、定番になっていきそうな良い品種。葉が短くコンパクトな株から長い花茎を伸ばす。花はピンク地に濃色のリップが印象的で、中輪ながら花茎が分枝し、着花輪数が非常に多いことからボリュームもある。宅配用の箱に収まるサイズの需要が高まる中、定番になりそうな品種である。



品目名 : ファレノプシス
 品種名 : ミクスマイル
 受賞者 : 有限会社 宮川洋蘭 (熊本県)
 育成者 : Miki Orchid
 育成者権者 : 有限会社 宮川洋蘭
 審査講評 : 幅広い贈答需要に答えることができる。葉は照り葉で短く、やや立ち上がり気味に展開し、坪当たりより多くの株数が置けそうである。花は中輪で、淡いピンクに濃色のリップがアクセントになっている。主張が強い個性的な色彩でないが、逆にその用途の制限は小さく、幅広い需要に応えられるだろう。



品目名 : ファレノプシス
 品種名 : ラブフロムハート
 受賞者 : 株式会社マルイ洋蘭開発センター (群馬県)
 育成者 : 柯文秀
 育成者権者 : 伊早坂 栄作
 審査講評 : 斑点模様が個性的な品種。ミディタイプなので、このユニークな模様のもつ強い印象が少し中和されている。淡い雰囲気は、あえて和風テイストの空間にあわせてももしろい。また、このように個性の強い模様のランはカタログやインターネットでの販売にも向いているかもしれない。



品目名 : バーベナ
 品種名 : 虹色あられ グリーンピンク
 受賞者 : 松原園芸 (群馬県)
 育成者 : 松原園芸
 育成者権者 : 松原園芸
 審査講評 : 淡いグリーン～イエローにピンク色がのる新しい色のバーベナ。近くで見ると花色のかわいらしさが良く見えるが、大きく育つので、遠目に見た際には、ピンク色がもう少しのったほうがグラデーションがよりよく見える。



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準。」
ジャパンフラワーセレクション。